

ETG50-5S

VER:1.0N

利用者マニュアル



警告

ご利用の皆様へ：

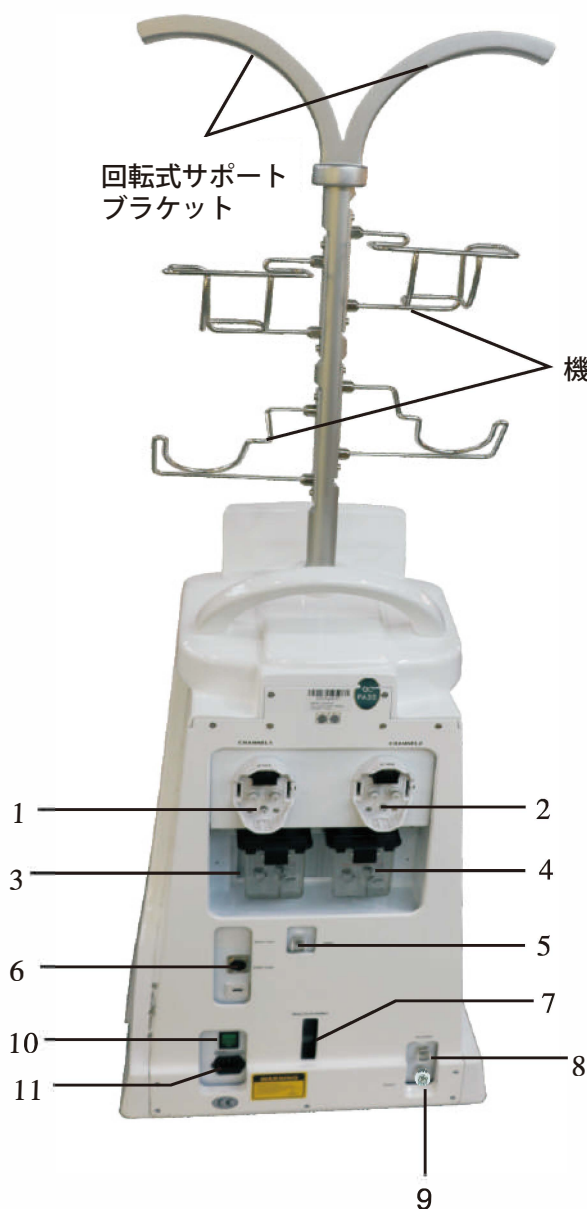
当社製品をご利用いただきありがとうございます。

製品を十分にご活用いただくために、以下の点にご留意お願いいたします。

- ◆◆ この説明書をよくお読みになり、大切に保管し、今後の参考にしてください。
- ◆◆ 指示に従って正しくし、操作してください。
- ◆◆ 本機の付属品を取り外したり変更したりしないでください。
- ◆◆ 社内で権限を与えられた人以外は、メインフレームを開いたり取り外したりすることができません。
- ◆◆ 専門家以外の方がマシンの交換やメンテナンスをすることは禁止されています。
- ◆◆ 動作中にトラブルが発生した場合は、お問い合わせください。

本製品は医療用ではありませんので、
治療行為には使用しないでください

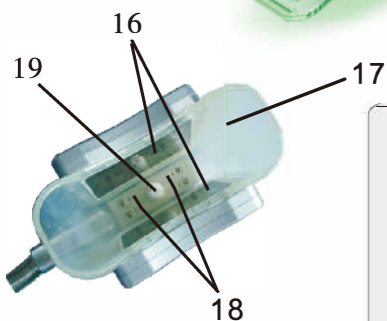
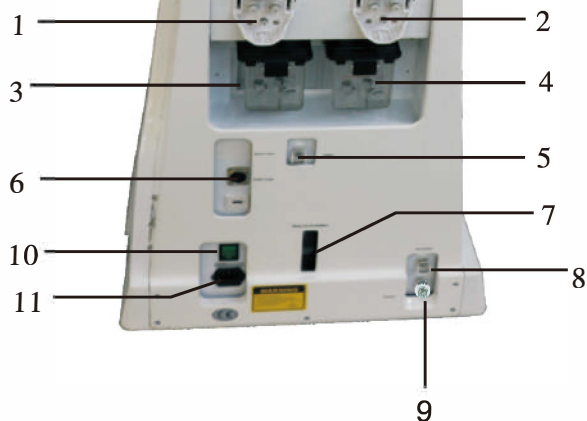
部品紹介



回転式サポート
ブラケット

機材置き場

緊急停止ボタン:
押す—緊急停止
リセット—右に90°回転
注: 使用前に緊急停止ボタン
がリセットされていることを
確認してください



- 1.チャンネル1の出力コネクタ
- 2.チャンネル2の出力コネクタ
- 3.チャンネル1のフィルターカップ
- 4.チャンネル2のフィルターカップ
- 5.蒸留水注入口
- 6.緊急停止スイッチジャック
- 7.蒸留水レベル表示ウィンドウ
- 8.オーバーフロー
- 9.蒸留水排出口
- 10.一般電源スイッチ
- 11.電源供給ジャック
- 12.冷却ハンドルのボタン
- 13.冷却ハンドルのプラグ
- 14.冷却ハンドルの表示ウィンドウ
- 15.冷却ハンドルの操作ボタン
- 16.冷却エリア
- 17.真空吸引部
- 18.赤/緑LED表示灯
- 19.ガスノズル

冷却ハンドルの操作ボタン:
△ボタンを1回押す...吸引開始(圧力追加)
△ボタンを2回押す...設定した吸引力を常に維持(圧力安定)
△ボタンを3回押す...一時停止(圧力なし)

部品



100サイズ



CR120



150サイズ



冷却脂肪分解ボード



200サイズ

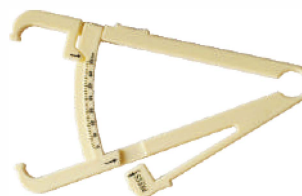


結束バンド



緊急停止ボタン

冷却ハンドル



脂肪測定器

アクリル樹脂を使用した部品（例：機材置き場、パネル、透明ハンドルなど）はアルコールや腐食性溶剤で拭かないでください。

冷却水循環の準備

1.綺麗な蒸留水を使用してください。

2.方法:

シールリング付きシリコンチューブのプラグをソケット[9]の蒸留水排出口に挿入します。蒸留水を排出し、液体が完全に出来排出しきるように装置を振ってください。その後、親指でスプリングを押し、シリコンチューブを引き抜いてください。

注：蒸留水を排出している間、冷却ハンドルはハンドル置きに置いてください。

3.シリコンチューブのプラグの片方は、蒸留水注入口に挿入し、もう片方のプラグは、輸送中にオーバーフローに挿入してください

冷却ハンドルの真空度に影響を与える場合は、通常の使用時にはシリコンチューブを取り外してください。



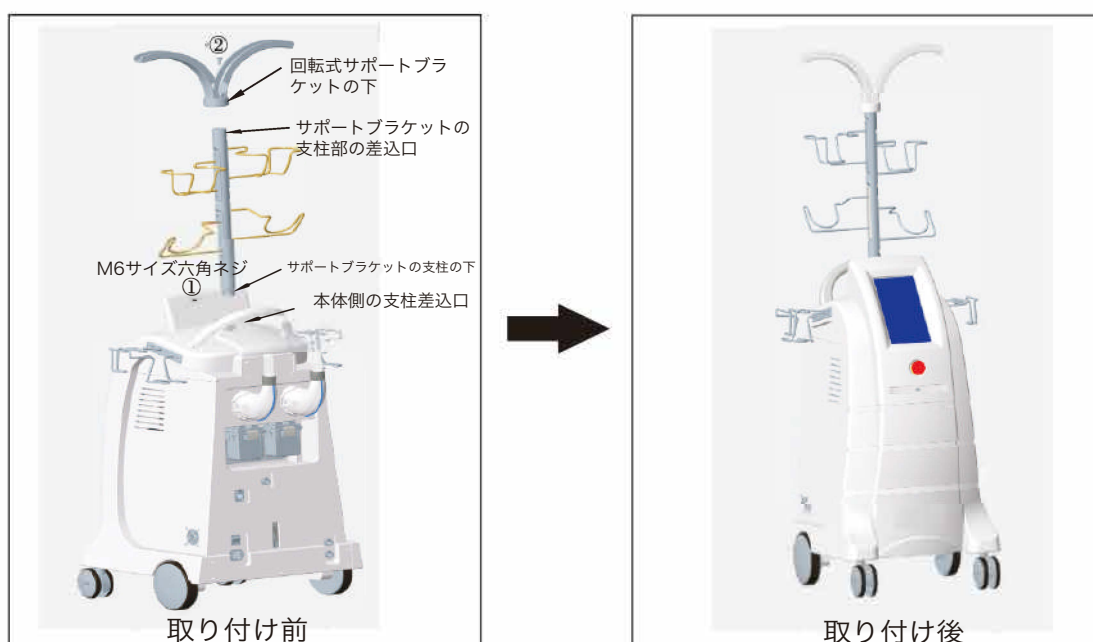
サポートブラケットの取り付け手順

サポートブラケットの支柱部分の下側を本体側の差込口に向け、① M6サイズ六角ビスで固定します。これでサポートブラケットの支柱の取り付けは完了です。


回転式サポートブラケットの下部を支柱側の差込口に挿入し、② M6サイズ六角ビスで固定します。これで回転式サポートブラケットの取り付けは完了です。

冷却ハンドル[12]のボタンを押し、冷却ハンドル[13]のプラグを機器フレーム[1]または[2]の出力コネクタに挿入し、写真のように冷却ハンドルを配置します。これで主な取り付けは完了です。

注意：サイズ300の冷却ハンドルはチャンネル1の出力コネクタに挿入する必要があり、単独でしか使用できません。他のタイプの冷却ハンドルとは併用できません。



蒸留水追加の手順

- 1.蒸留水または純水を使用してください。
- 2.専用の漏斗を使って、蒸留水の注入口[5]に接続する。
- 3.漏斗から蒸留水または純水を加える。
- 4.蒸留水レベルウィンドウ[7]のレベルが8になるまで液体を加える。
- 5.最初に冷却液をうまく入れる。
- 6.電源供給ジャック[11]を接続し、一般電源スイッチ[10]をオンにする
- 7.デフォルトのパスワード「000000」を直接入力して、(図1)の画面に入る。
- 8.“”のボタンをクリックする。図2の画面で「Liquid setting (液体の設定)」をクリックして、図3の画面に入り、「Start」をクリックするとカウントダウンが始まります。
- 8.システムが一時停止した時には、蒸留水レベルのウィンドウの状態を観察し、レベル8に達していない場合は、レベルが8以上になるまで再度蒸留水を追加してから漏斗を外してください。

注:

- 1.約2Lの蒸留水を入れ、1週間後に水を交換してください。
- 2.蒸留水を入れられない場合は、シールリング付きシリコンチューブのプラグを蒸留水の排出口に差し込みます。液体がスムーズに出てきたら、親指でスプリングを押し、シリコンチューブを引き抜いて、引き続き充填してください。
- 3.15日以上使用しない場合は、蒸留水を排出しておくことをお勧めします。


ハンドル交換の手順

- 1.まず、一般の電源スイッチを切ります。
- 2.冷却ハンドル[12]のボタンを押して引き抜いてください。

コントロールパネル説明

- 1.一般電源スイッチ[10]をオンにし、タッチスクリーンのヒントに従ってデフォルトのパスワード「000000」を入力し (ICカード制御システムを使用する場合はこのステップをパス)、図1の画面入ります。異なるタイプの冷却ハンドルを使用する場合、システムは自動的に識別します。

注意：サイズ300の冷却ハンドルはチャンネル1のみ使用可能です。

- 2.をクリックして、(図2)の画面に入ります。(図2)に従い、「Basic Setting (基本設定)」をクリックして、言語設定、ミュート設定、サウンド設定を選択します。

▲警告：「Advanced setting (高度設定)」 技術テストのためのもので、ユーザーの方は使用しません。

3. 「Liquid setting (液体設定)」をクリックすると、図3のような画面が表示されます。詳細は*蒸留水追加の手順を参照してください。

4. 「Clean gas pipeline (ガス管清掃)」をクリックすると、(図4)のような画面に入ります。

「Start」をクリックすると、自動的にガス管の清掃が始まります。洗浄時間は5分です。清掃中にフィルターカップの液体レベルを確認してください。フィルターカップが一杯になった場合は、「Pause」をクリックして清掃してください。

その後、フィルターカップを正しく設置し、再度「開始」をクリックしてください。ガス管の清掃は、1回につき5分間継続して行います。方法は「フィルターカップの取り外し・取り付け方法」を参照してください。



(図1)



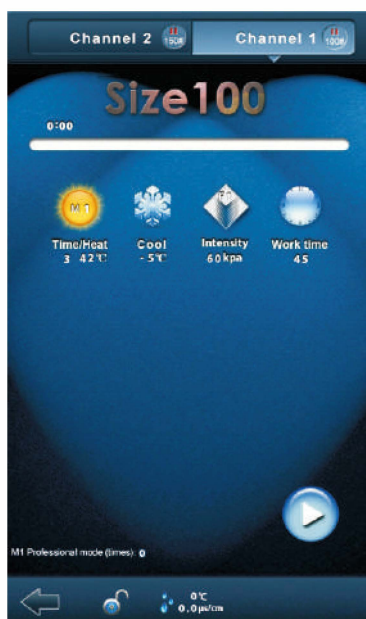
(図2)



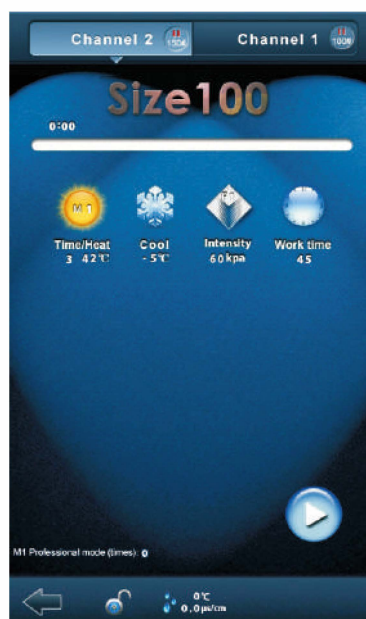
(図3)



(図4)



(図5)







(図6)

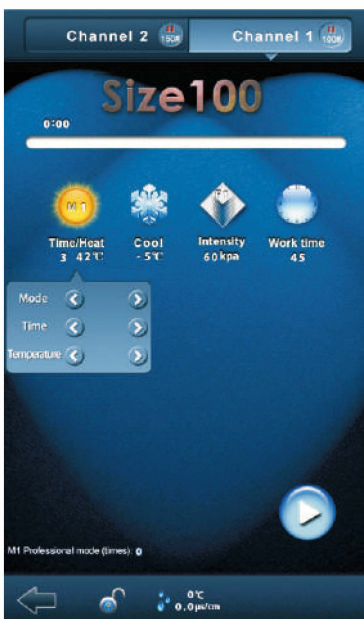
5. 絵か→をクリックすると、(図5)のような機能設定の画面に入ります。

(1)例えば、サイズ100の冷却ハンドルを「チャンネル1」の出力コネクタに挿入すると、システムのデフォルトである「チャンネル1」はスタンバイ状態になります。

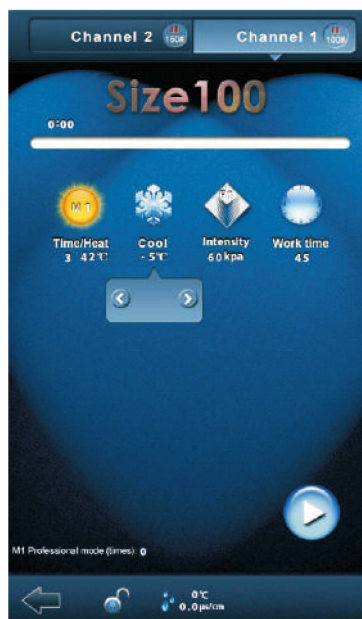
サイズ150の場合、サイズ150の冷却ハンドルを "チャンネル2 "の出力コネクタに挿入し、"チャンネル2 "をクリックすると（図6）のような画面になります。

- (2) アイコン  をクリックすると、さまざまな施術パラメータを設定することができます。詳細は「アイコンの説明」をご覧ください。
- (3) 矢印「 \leftarrow 」をクリックすると、（図1）のような画面に戻ります。
- (4)  はシステム起動後、ハンドルのスイッチボタンをロックすることを意味します。
 はロックされていない状態です。
- (5)  は水質モニタリングです。
注意：水質が $5.0\mu\text{s}/\text{cm}$ 以上になった場合は、すぐに蒸留水を交換してください。

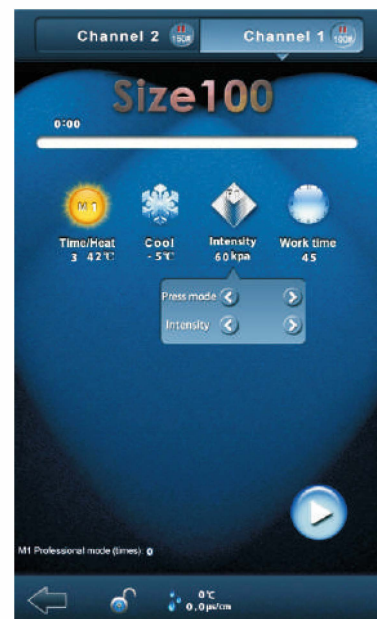
アイコンの説明



(図7)



(図8)



(図9)



ハイパーサーミア（温熱）モードです。モード、時間と温度を調節します。



をクリックすると（図7）のような画面になります。

(1) 「Mode（モード）」の「 \leftarrow 」と「 \rightarrow 」をクリックして、ハイパーサーミアモードを選択します。システムのデフォルトはM1です。

M1プロフェッショナルモードは、冷却と加熱を交互に繰り返す脂肪分解です。M2ノーマルモードは、最初に加熱してから冷却し脂肪を分解します。ライトが赤く点灯している間は、皮膚を温め局所の血流の活動を活性化させることで、冷却脂肪分解の働きが促進されます。その後設定された冷却温度へ低下します。冷却脂肪分解が開始されると緑に点灯します。

- (2) 「Time (時間)」の「<」と「>」をクリックして、ハイパーサーミアの時間を調整します。M1モードの時間は1～5分、M2モードの時間は0～5分です。0ではハイパーサーミアは機能しません。
- (3) 「Temperture (温度)」の「<」と「>」をクリックして、ハイパーサーミアの温度を調節します。範囲は37°C～45°Cです。



冷却温度を示しています。  を押すと (図8) の画面に写ります。

「<」と「>」をクリックして、冷却温度を調節します。範囲は9°C～5°Cです。注意：温度変化が激しい場合は、専門家の助言のもと操作してください。



プレスモードとプレス強度を示しています。  を押すと (図9) の画面に移ります。

- (1) 「プレスモード」の「<」「>」をクリックして、モードを選択します。P1はマッサージインテリジェントバランス圧力モードです。安定した圧力状態となります。例えば圧力吸引を60kpaに設定すると、圧力が40kpaよりも大きくなると、まず3分間動作し、その後40kpaに下げてマッサージを行います。安定した圧力下で5分間動作し、その後30秒のマッサージを行い、常に40 kpaを維持し、5分間動作し、30秒のマッサージを行うサイクルを施術が終わるまで繰り返します。

P2はインテリジェントバランス圧力モードです。例えば60kpaに設定した場合、3分の動作した後、圧力は自動的に40kpaに下がり施術終了までそれを維持します。


P3は、安定圧力維持モードを維持します。

圧力は設定したものと同時に保たれます。

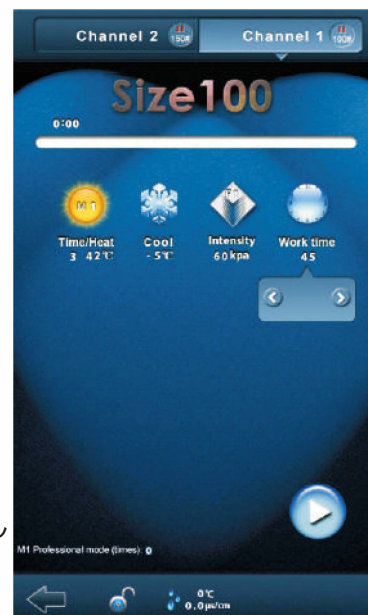
プレスモードは、開始後に調整できません。

- (2) 「Intensity (強度)」の「<」と「>」をクリックして、プレス強度を調整します。範囲は10kpaから80kpaです。



作業時間設定です。このアイコンを  を押すと (図10) の画面に写ります。「<」と「>」をクリックして、設定します。範囲は1～120分です。

各パラメータを設定した後、プレスタートボタン "II" をクリックします。



(図10)

▲留意点

システム起動後（「II」をクリック）、ハイパーサーミアモード、ハイパーサーミア時間、ハイパーサーミア温度、プレスモード、作業時間は調整できませんが、冷却脂肪時間、プレス強度は調整できます。

施術設定上の注意

- 1.各部位30～60分程度まで（脂肪の厚さや健康状態により異なる）
- 2.2部位しか施術できませんので、同施術日に3つ以上の部位を治療しないでください。
- 3.Size300の冷却ハンドルは接触域が大きいいため、単独で使用してください。使用時間は30分を推奨しており、極度の肥満の人向きです。
- 4.施術後、2か月後同じ部位で再度冷却脂肪分解してください。再度行うことで、冷却脂肪分解の効果を高めることができます。
- 5.冷却脂肪分解は、部分やせ目的として、健康な人のために設計されていますが、全体的な肥満の方には適していません。主にウエストの脂肪、腹や背部といった一部のセルライトのような特定の部分のための治療です。治療は全能ではなく、肥満を治すことはできませんし、脂肪吸引などの外科的な治療法に取って代わることはありません。。大幅な減量は、バランスのとれた食事と定期的な運動を行う必要があります、冷却脂肪分解は余分な脂肪に対してのみ適しております。
- 6.脂肪の厚さに応じて、適合する冷却脂肪分解の温度と作業時間を選択することを推奨します。
[臨床上のお知らせ参照]

肌用凍結防止シート

冷却脂肪分解治療の際には、温度が0～40度に下がると凍傷になる可能性があるため、適切な凍結防止液を使用する必要があります。[消耗品は各自で購入してください。]

操作手順

施術部位①の手順

- 1.マシンの電源を入れる前に、冷却水レベルウィンドウの水位が8以上かどうか確認してください。8以下の場合は、冷却脂肪分解システムへの悪影響を避けるため、冷却水を追加してください。
- 2.電源を入れ、"絵"または"→"をクリックすると、図5のような画面が表示されます。
- 3.脂肪測定器を使って、脂肪の厚さを確認します（図11）。冷却温度は<脂肪厚参考表>を参照してください。
- 4.施術部位を清潔にし、毛を処理しておきます。
- 5.術施部位のサイズをマーキングしてください。
- 6.凍結防止シートのパッケージを開ける。
- 7.まず、小さな凍結防止シートを取り出し、冷却ハンドルの端と内側に塗ります。

8.次に大きな凍結防止シートを開けます。(図12)

脂肪厚参考表

9.図13のように、不凍液の膜を治療箇所貼る。

ウエストと腹部の治療を受ける方は、

10 (図11) が示すように、上半身と太ももを90度にして座ってください。


暑さ	温度	時間
<20mm	3℃	60min
>20mm	0℃	45min

11.脂肪の厚さに応じて、冷却温度と作業時間を設定します。

12.「スタート」をクリックすると、「チャンネル1」の冷却ハンドルがスタンバイします。

13.図14に示すように、冷却ハンドルを使って治療部位を優しく吸引し、コントロールボタンを1回押すと吸引が始まります。(圧力を加える)

14.吸引力が適切になったら、コントロールボタンを再度押して、

安定した圧力を保ちます。図5のように  をクリックすると、冷却ハンドルのロックボタンが表示されます。(図15)のように、結束バンドを使って冷却ハンドルを固定します。

治療プロセス中に作業状態を変更したい場合は、

 キーをクリックしてロックを解除してください。



(図11)

施術部位②の手順

1.「チャンネル1」の冷却ハンドルが圧力維持状態に入った後、

「チャンネル2」をクリックします。

2.操作手順①と同様に操作する。

3.設定時間を超えると自動的に操作停止します。

4.いずれかのキーを押して続行します。

「⇐」をクリックすると、(図1)の画面に戻ります。



(図12)
凍結防止シート



(図13)
ペーパーをはる



(図14)
吸引

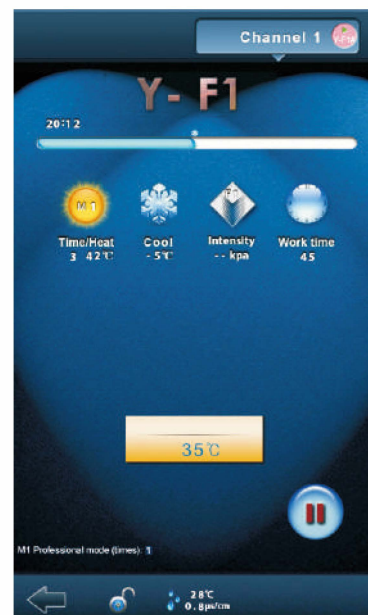


(図15)
治療過程

Y-F1

施術部位①の手順

1. "CR120" または "→" をクリックすると、図16のような画面が表示されます。
2. 図11のように、脂肪測定器を使って脂肪の厚さをチェックします。冷却温度は、<脂肪厚参考表>を参照してください。
3. 施術部位を清潔にし、毛を処理しておきます。
4. 施術部位のサイズをマーキングしてください。
5. 凍結防止シートのパッケージを開けます。
6. まず、小さな凍結防止シートを取り出し、冷却ハンドルの端と内側に塗ります。



(図16)

7. 次に (図12) のように、大きい凍結防止シートを開きます。
8. 図13に示すように、凍結防止シートを施術部位に貼り付けます。
9. 治療を受ける方は、上半身と脚が90度になるように座るか、美容ベッドに横になって施術を受けてください。結束バンドで冷却ハンドルを固定します。

脂肪厚参考表

厚さ	温度	時間
<20mm	3°C	60min
>20mm	0°C	45min

10. 脂肪の厚さに応じて、冷却温度と作業時間を設定します。
11. スタートをクリックすると、「チャンネル1」の冷却ハンドルがスタンバイします。

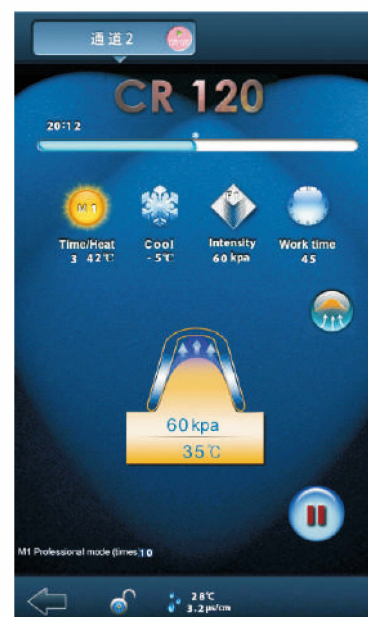
施術部位②の手順

1. 「チャンネル1」の冷却ハンドルが圧力維持状態になった後、「チャンネル2」をクリックします。
2. 操作手順①と同様に操作する。
3. 設定時間が過ぎると、システムは自動的に停止します。続行するためにいずれかのキーを押してください。
4. 「←」をクリックすると、(図1)画面に戻ります。

CR120

施術部位①の手順

- 1.CR120 "または "⇒ "をクリックすると、図17のような画面が表示されます。
- 2.図11に示すように、脂肪測定器を使って脂肪の厚さをチェックします。冷却温度は<脂肪厚参考表>を参照してください。
- 3.施術部位を清潔にし、毛を処理しておきます。
- 4.施術部位のサイズをマーキングしてください。
- 5.凍結防止ペーパーのパッケージを開けます。
- 6.まず、小さな凍結防止シートを取り出し、冷却ハンドルの端と内側に塗ります。
- 7.次に（図12）のように、大きい凍結防止シートを開きます。
- 8.図13に示すように、凍結防止ペーパーを施術部位に貼り付けます。
- 9.治療を受ける方は、上半身と脚が90度になるように座るか、美容ベッドに横になって施術を受けてください。結束バンドで冷却ハンドルを固定します。
- 10.脂肪の厚さに応じて、冷却温度と作業時間を設定します。
- 11.スタートをクリックすると、「チャンネル1」の冷却ハンドルがスタンバイします。



(図17)

脂肪厚参考表

厚さ	温度	時間
<20mm	3℃	60min
>20mm	0℃	45min

施術部位②の手順

- 1.「チャンネル1」の冷却ハンドルが圧力維持状態になった後、「チャンネル2」をクリックします。
- 2.操作手順①と同様に操作する。
- 3.設定時間が過ぎると、システムは自動的に停止します。続行するためにいずれかのキーを押してください。
- 4.「⇐」をクリックすると、（図1）画面に戻ります。

処理中画面の説明



(図18)

施術後



損傷、一部凍傷、色素沈着は、治療部位で発生する可能性があり、適切なケアを行なってください。

注意事項

- 1.本製品は専門の人が操作してください。
- 2.毎回操作する前に、蒸留水レベルのウィンドウの状態を観察し、レベルはレベル8以下にならないようしてください。
- 3.凍結防止シートを使用しないの施術は禁止します。
凍結防止シートが治療部位を完全に覆っていないと、凍傷などの危険性があります。
- 4.臨床的可能性で言えば、どの使用者も凍傷反応を起こす可能性がありますので、脂肪の厚さに応じて温度を上げるか、専門家に相談してください。

5.特に注意していただきたいこと。

体の広い範囲を治療したり、施術部位の隣接部分を治療しないでください。(図17)が示すように、部位①を操作した場合、部位②や部位④を操作することはできず、部位③しか施術できません。これを守らない場合、光は代謝障害を発生させ、代謝性酸血症を引き起こし、体内の毒素が排泄されなくなります。

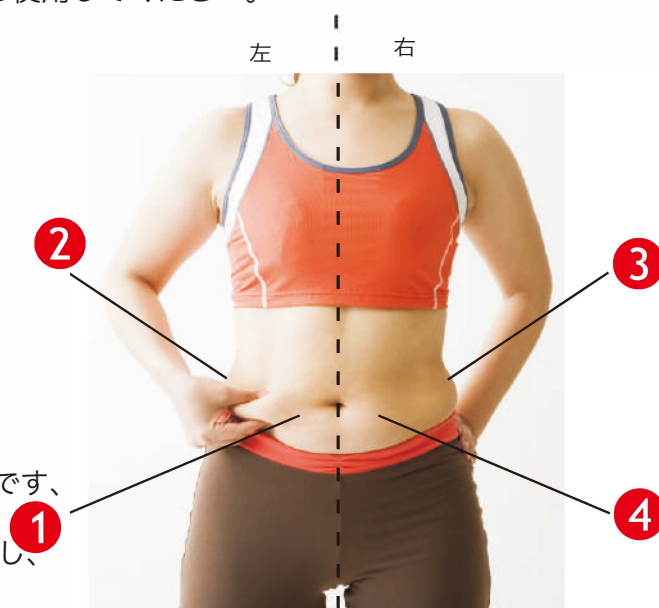
6.以下の医用電気機器を使用している患者様は、本製品を使用できません。

- 心臓ペースメーカーなどの埋め込み型の電子機器
- 生命維持のための人工心肺装置などの機器
- 携帯型心電図測定装置

7.以下の患者は、専門の医師の許可を得てから使用してください。

- 急性疾患のある方
- 悪性腫瘍
- 伝染病
- 妊娠中の方
- 心疾患のある方
- 発熱のある方
- 治療を受けている方や、体に異常な症状が見られる方。

※8.画面に「Please check and clean the filter cup (フィルターカップを確認して清掃してください)」または「Filter cup is full, please clean (フィルターカップが満杯です、清掃してください)」と表示された場合、すぐにフィルター [3] [4]をチェックして清掃し、いずれかのキーを押して終了してください。そうしないと機械が損傷する恐れがあります。



(図17)

臨床上的のお知らせ



冷却脂肪分解システムでは、脂肪を凍結させることができますが、同時に以下のようなリスクもあります。

1.現在の研究では、耐寒性のない皮膚を持つ人は、-5度以下を選択すると凍傷現象が発生することがわかっており、このような方には0～5度をお勧めします。

2.初めてご使用になるお客様は、-8℃以下を選択しないでください。-8℃から-9℃は55mm以上の脂肪厚の方に適していますますが、脂肪が55mm以下の場合は使用しないでください。凍傷の危険があります。

3.凍結防止シートの液体が少なすぎる場合（通常開封時には、袋の中に少し液体があるか、シートが非常に潤った状態です）は、使用しないでください。液量が十分であれば、凍傷から肌を守ることができます。

4.凍結防止シートが治療部位を完全にカバーできるかどうかを確認してください。凍結防止シートがないと、2分で皮膚が凍傷を起こしてしまいます。

5.施術当初に皮膚を吸引する際、真空圧（40- 70kpa）を選択することができ、その3分後に、30-40kpaに圧力を調整してください、長時間、高圧力（60- 80kpa）での治療は、皮膚の水疱のリスクを増加させます。

6.治療部分をチェックして、皮膚が硬くなったり、しこりができたりする場合は、凍傷の可能性がありますので、暖かいタオル（42度）で10分間皮膚を覆ってください。

患部は水疱ができ、向けた後に皮膚がかさぶたになりますが、傷口を清潔で乾燥した状態に保ち、凍傷用のクリームを数日間塗れば、傷は治ります。

7.水疱のその他の処置方法

凍傷のため、出血がある場合は、軽度の傷口は感染予防対策をしてください。重度の場合は、無菌的な穿刺液が必要ですので、1%～2%のベーシックバイオレット3で処置してください。

禁忌



- 肝臓の疾患
- レイノー現象
- 重度の寒冷蕁麻疹
- クリオグロブリン血症
- 低タンパク血症
- 重度の凍傷。
- 重度の糖尿病や高齢者、幼い子供、虚弱体質など、凍結療法に向かない方
- 生理的低血圧

タッチスクリーン校正

- 1.電源スイッチを入れます。待機状態で、タッチパネルのタッチすると、校正プログラムに入ります。
- 2.画面の指示に従って、左上、右上、右下、左下、中央の順に、画面の指示記号「+」をクリックします。
- 3.校正が終了すると、システムは待機画面に入ります。
- 4.電源スイッチを切り、システムを再起動します。

使用できない方



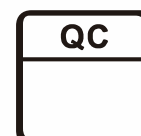
- 1.心臓病や高血圧の方、心臓ペースメーカーを装着している方
- 2.急性炎症、喘息、深部静脈血栓症、甲状腺癌、癌の患者
- 3.出血性疾患、外傷のある方、出血している方
- 4.妊娠している方
- 5.医療用プラスチック部品、または人工物が内部に入っている方
- 6.体内に金属を使用している方（金属歯を含む）
- 7.皮膚の炎症または浮腫を持つ患者
- 8.免疫異常の方
- 9.熱に対する感覚障害のある方

テクニカルパラメータ






- 1.入力端子: AC220~230V 50/60Hz □ AC11 av 5a/6aHz
- 2.パワー: 800 VA
- 3.ライト: 赤(630nm) 緑(570nm) 5amWX4
- 4.冷却液: 蒸留水または純水
- 5.ヒューズ: FU5X20\6.3Aバッファァー付 (220V使用時)(ダブルヒューズ)
ヒューズ: FU5X20\10Aバッファァー付(110V使用時)(ダブルヒューズ)

梱包物一覧

1.本体	1PC	<input type="checkbox"/>
2.サイズ 100 冷却ハンドル	1PCS	<input type="checkbox"/>
3.サイズ150 冷却ハンドル	1PCS	<input type="checkbox"/>
4.サイズ200 冷却ハンドル	1PCS	<input type="checkbox"/>
5.CR120 冷却ハンドル	2PCS	<input type="checkbox"/>
6.F1冷却脂肪分解板	2PCS	<input type="checkbox"/>
7.緊急停止ボタン	1PCS	<input type="checkbox"/>
8.脂肪測定器	1PCS	<input type="checkbox"/>
9.結束バンド	2PCS	<input type="checkbox"/>
10.ステッカー	4PCS	<input type="checkbox"/>
11.凍結防止シート (大・中・小)	30PCS	<input type="checkbox"/>
12.液体注入アクセサリ 2個	1PCS	<input type="checkbox"/>
13.シリコンチューブ (CPCコネクタ付き)	1PCS	<input type="checkbox"/>
14.電源ライン	1PCS	<input type="checkbox"/>
15.利用者マニュアル	1COPY	<input type="checkbox"/>
16.黒色シーリングリング (11X1.5)	10PCS	<input type="checkbox"/>
17.六角ビスレンチ (M5)	1PC	<input type="checkbox"/>
18.六角ビス (M6X12)	1PCS(Fixed frame and host)	<input type="checkbox"/>
19.六角ビス (M6X8)	12PC	<input type="checkbox"/>
20.十字穴付きネジ (10X25)	1PCS	<input type="checkbox"/>
21.回転サポートブラケット	1PCS	<input type="checkbox"/>
22.機材置き場	7PCS	<input type="checkbox"/>
23.ワークヘッドボックス	2PCS	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>



記号と意味

警告記号	意味
 危険	誤った使い方をすると、死亡事故を招いたり重傷事故を招来ます。
 警告	誤った方法で使用すると、死亡する可能性や重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った使い方をすると、人身事故や商品の破損の原因となります。
 危険	高電圧出力端子に高圧力の危険性があります。
 勧告	誤った使い方をすると、人身事故の原因となります。

*物的損害とは、住宅、財産、家畜類、ペットの損害を指します

禁忌



1.以下の症状のある方は使用できません。

- (1)心拍調整器、心臓ペースメーカー、ECSを使用している方
- (2)人工骨を使用している方；珪肺症の方
- (3)飲酒後の方、高熱がある方
- (4)高度の精神疾患のある方、てんかんの方
- (5) 自立表現意識がなく、自分の身の回りのことができない方。
- (6) 体内に金属材料（金属歯を含む）を使用している方、妊婦、悪液質のある方、悪性腫瘍のある方。
- (7)重度の高血圧症、重度の心血管・脳血管障害のある方
- (8) 腎不全の方
- (9)重度の感染症に罹患している方



危険

2.以下の場合は、専門家の指導のもとでご使用ください。

- (1)月経中の女性
- (2)子供
- (3)出血性疾患や外傷、炎症、皮膚疾患、皮膚感染症、
- (4)しびれのある方、熱に対する感覚障害のある方
- (5) 免疫系に異常のある方、瘢痕形成歴のある方、身体疾患のある方
- (6) フェイスリフティングを受けたことのある方、または身体に人工的なものがある方



警告

メンテナンス

- 1.本機の近くにある家電製品や医療機器は、干渉により動作不良を起こす可能性があります。
- 2.以下の環境での使用を禁止します。
 - 高温多湿の場所
 - 埃の多い場所
 - 煙や流れが多い場所
- 3.万一故障した場合は、直ちに電源を切り、販売店またはメーカーに送って修理を依頼してください。ご自身での修理はご遠慮ください。
- 4.免責事項
次のような場合には、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
 - (1)火災、地震、戦争などが発生した場合。
 - (2) 使用者の過失、操作ミス。
 - (3)他の方法(使用説明書に記載されていない方法)を使用して生じた損害。
 - (4) 取扱説明書がない状態で操作した場合。

安全と環境への配慮

毒物・有害物質参照リスト 電子情報製品の汚染防止・管理対策 有害・有毒な物質や元素の含有量一覧表

部品名	毒性・有害性のある物質・元素						備考
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	ハクサンクロミウム (Cr(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	
プラスチックボード	○	○	○	○	○	○	
プリント基板	×	○	○	○	○	○	
電源供給	×	○	○	○	○	○	
付属品	×	○	○	○	○	○	

宣言:

○ この部品の全ての均質材料における有毒有害物質の含有量がSJ/T11363-2006規格の制限要件を下回っている。

×この部品の均質材料の含有量がSJ/T11363-2006の制限要件を上回っている。使用者が本製品を環境保護の期限内に通常使用することで、これらの物質や要素が漏れたり、急激に変化したりすることはなく、個人や財産に損害を与えることはありません。このような物質や要素については、使用者は自分で処分してはならず、政府の規制に従って、政府の指定するリサイクル関連部門に依頼してください。

故障トラブルシューティング

操作中にデバイスに障害が発生した場合、以下のガイドでいくつかの簡単な質問を診断、解決することができます。それでも解決しない場合は、お手数ですが早急にカスタマーサービスまでご相談ください。

1.電源スイッチを入れても何も起こらない。

(1) AC電源が正常かどうかを確認してください。

(2) 電源ラインが断線していないか確認する。

(3) ヒューズが正常かどうかを確認する。

2.タッチ画面の不具合

(1) タッチ画面のクリックが無効です。タッチスクリーンが押されている可能性があります、静かに画面の4つの角とセンターを押してください、その後、機器の電源をオフにし、1分間待って、それを再起動してください。

(2) タッチスクリーンの位置ずれ。機器の電源を入れ、校正画面に入ります。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

(3) タッチスクリーンが破損している場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

3.タッチスクリーンの表示エラー。

電源を切り、再起動してから1分ほどお待ちください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

4.起動後、以下の画面が表示された場合

E0:ディスプレイコントロールボードとハンドルコントロールボードの間の接続不良です。冷却ハンドルのプラグが正常に接続されているか確認し、再起動してください。

E1:ディスプレイコントロールボードとファンクションコントロールボードの間の接続不良です。ディスプレイコントロールボードとファンクションコントロールボードの間の接続が緩んでいることが原因です。カスタマーサービスに連絡し、その指示に従って操作してください。

Err4/5:左右の温度センサーが故障しています。

(1) 左右のハンドル内部の温度偏差が大きすぎる場合、アラームが発生することがあります。このときは、ハンドルを戻し、内部の動作を確認し、30分ほど無負荷状態にして左右のハンドル内部が冷却できていることを確認してください。

(2) 電源投入後に温度が上昇するとアラームが発生することがあります。

1) 冷却を開始すると、内部を加熱して徐々に温度が上昇します。アラームが発生した場合は、冷却水レベルウィンドウを確認してください水位以下の場合、または異常がある場合は、冷却水を再注入します。

2)電源を入れてから1～2分後に、冷却工程を経ずに異常な温度上昇があり、アラームを引き起こす場合は、壊れたハンドルを交換してください。

Err13/14:チャンネル1/2のハンドルの空気漏れ、確認要

画面に指示が表示されたら、「チャンネル1/2」の冷却ハンドルが緩んでいないか、空気が漏れていないかを確認し、緩んでいたらハンドルのコントロールボタンを押して「無圧」状態にし、施術部位を吸引を再開してください。

Err17/18:水センサーの故障です、水を入れてください。

(1)機器とハンドルの接続部を押しつぶされたり、折り曲げたりしていないか確認してください。

(2)機器背面パネルの冷却水レベルウィンドウを確認し、8より低い場合は水を追加してください。

(3)それでも問題が解決しない場合は、冷却水補充の手順と注意事項をよく読んで、再度冷却水を補充してください。(5ページ参照)。

5.冷却ハンドルの表示(図5)が実際と一致しない場合

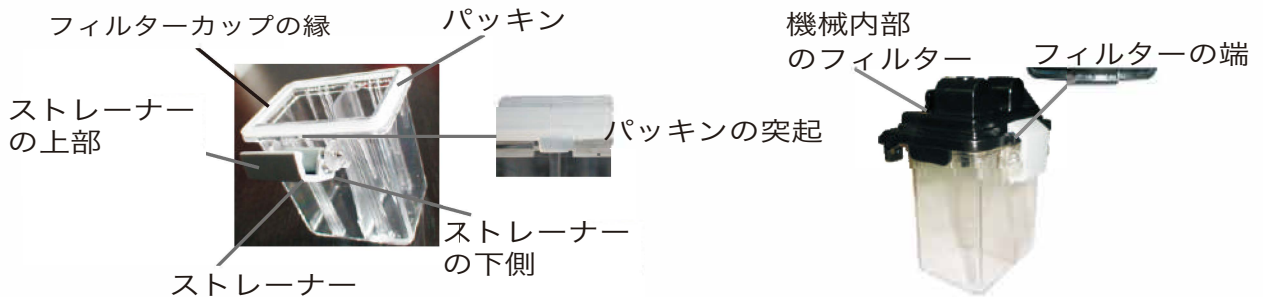
(1)システムが起動している状態で、非常停止ボタンを切ります。

(2)冷却ハンドル[14]の表示ウィンドウと冷却ハンドル[15]の操作ボタンを同時に押して、緊急停止ボタンをオンにする。サイズ300は選択する必要はありません。

(3)対応するモデルのアイコンを選択し、緊急停止ボタンをオフにして、システムを再起動します。

フィルターカップの取外し・取付方法

フィルターカップの構造



フィルターカップの取外し:

1. ストレーナーの底面に指を当てて、(図1) のようにします。
2. ストレーナーの底面を引っ張ると、図2 のようになります。
3. その後、ストレーナーを持ち上げ、完全に開いたことを確認して、(図3) のように、フィルターを取り外します。



(図1)



(図2)



(図3)

フィルターカップの取付け:

1. フィルターカップが枠に対し斜めになっているので、フィルターカップの端がフィルターとうまく接続されていることを確認してください (図4)。
2. フィルターカップを持ち上げて、フィルターを閉じます (図5)。
3. ストレーナーをフィルターの端に固定し、ストレーナーの下側を内側に押し込みます (図6)。
4. 取り付け完了後、フィルターカップとフィルターが (図7) のようにきちんと接続されているかを確認します。



(図4)



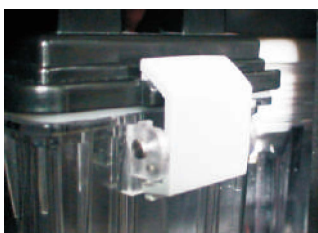
(図5)



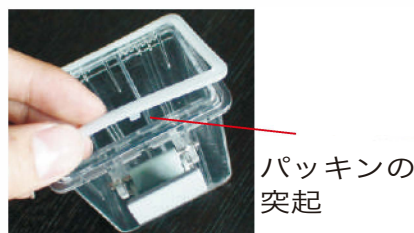
(図6)

歪みを直す方法:

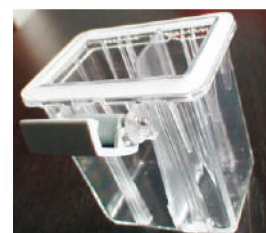
1. 図8に示すように、パッキンの突起以外をフィルターの縁の溝部分に入れます。
2. 図9のように、盛り上がっている部分をフィルターのカップストレーナーに向けて、フィルターカップの縁に沿ってパッキンをうまく配置します。



(図7)



(図8)



(図9)

問診票

名前		性別		年齢		NO:
身長		体重		心拍数		

施術前の確認事項:

- | | | |
|---------------------------|-------|--------|
| 1. 肝臓病の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 2. レイノー病の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 3. 重度の糖尿病の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 4. 寒冷性高フィブリノゲン血症の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 5. クリオグロブリン血症の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 6. 重篤な寒冷蕁麻疹の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 7. 過去1年間の手術の有無 | はい[] | いいえ[] |
| 8. 月に2回以上冷却脂肪分解を行ったことがあるか | はい[] | いいえ[] |

一つでも「はい」がある場合は、施術を控えてください。
凍傷反応を起こす可能性があります、同意できない場合、治療を受けることはできません。

署名:

日付:



施術箇所をマークし、番号をつけてください

施術番号①

施術開始日: 年 月 日
 施術時間: 分
 施術温度: °C

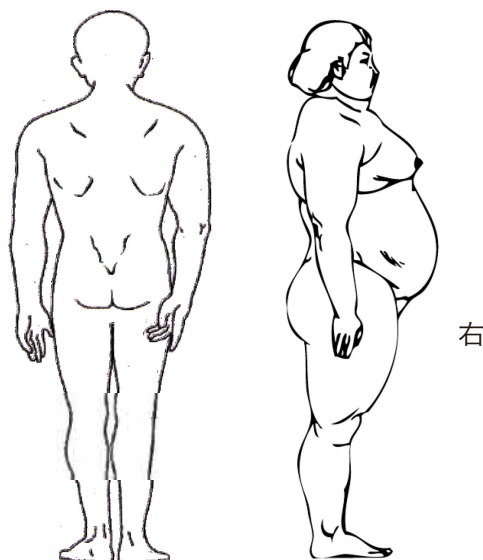
施術2ヶ月後のアフターチェック:

良好[] 普通[]
 施術2回目開始日: 年 月 日
 施術時間: 分
 施術温度: °C

施術3-6ヶ月後のアフターチェック:

良好[] 普通[]

治療前と治療後の写真をお願いします。



施術箇所をマークし、番号をつけてください

施術番号②

施術開始日: 年 月 日
 施術時間: 分
 施術温度: °C

施術2ヶ月後のアフターチェック:

良好[] 普通[]
 施術2回目開始日: 年 月 日
 施術時間: 分
 施術温度: °C

施術3-6ヶ月後のアフターチェック:

良好[] 普通[]

治療前と治療後の写真をお願いします。